

古民家ダイニングで集客

物流サービスのホンダロジコム 香嵐溪の料亭刷新

バーベキューなどアウトドア要素も



カジュアルさも融合した店内



店舗入り口の完成イメージ

物流サービスのホンダロジコム(本社春日井市八田町5の16の6、本多敦社長、0568・568890)は、今年1月に株式譲渡で取得した割烹(かつぼう)料亭「香嵐溪一の谷」(豊田市足助町一の谷22)をリニューアルし、「古民家ダイニング一の谷」として31日にオープンする。従来はアユやシビエ(野生鳥獣肉)などの会席料理を中心としていたが、カジュアルなメニューや野外活動体験の要素も融合し、客層の拡大で地域にぎわい創出に貢献する。(尾東・山岡賢彦)

同社は物流事業の枠を超え、CSR活動の一環として保育、キクラゲ栽培、スポーツ支援などの事業に取り組んでいる。今回の飲食店運営も、紅葉の名所である足助町地区に、シーズン以外にもにぎわいを創出するのが狙い。

リニューアルのコンセプトは「Fusion」。古き良き」と「近代風」の融合」で、席数はレストラン70席、料亭74席の配分。気軽に参加できるグランピング



「オリジナルワンプレート」の組み合わせの一例

施設を組み合わせることで集客力を高める。ドッグランスペースも計画中。また、店内では同店オリジナル商品や地元野菜・特産品などの販売も行う。

料理の面では、和洋折衷をイメージした空間にオープンキッチン(客席から見える配置)を設けるとともに、自然あふれる店外のオープンスペースでも食べられる

ようテークアウトメニューも用意。店内外それぞれの「楽しさ」を演出する。メニューは、メイン料理3品から1品と豆皿料理6品から3品を選び、自分だけの「オリジナルワンプレート」を組み立てられる。

31日と8月1日は、記念イベントとして地元飲食店・物産店の協力のもと、足助町グルメやクラフト・菓子作りワークショップなどを開く。